

令和7年9月定例会で報告

「議員定数検討特別委員会」を設置！ 本格的な議論がスタート

今次定例会で、議員定数検討特別委員会を設置した。早速、12月11日に第1回委員会を開催。人口が減少する中でも、行政需要は増加し、議会に対する要望・期待も増している。議員定数削減か現状維持か活発な議論が期待される。

委員長 山口勝士 副委員長 笠原規弘

委員 島崎隆夫・鈴木秀尚・関根慶則・田中立男・岡部久志・田端良成



山口委員長コメント

委員会として「削減する・しない」の結論ありきではない。議会や議員が、住民から指摘される課題は多く、多様な考え方が交錯する。それだけに「定数」に対して結論を出すことは容易ではない。大切なのは結論への丁寧な説明・根拠である。そのためにも委員による自由で活発な議論をリードしたい。眠れぬ夜が続きそうだ。

令和7年1月24日 大正大学 江藤俊昭氏の研修を実施

テーマ 議員定数を考える視点と課題

議会は住民自治の根幹である。削減か現状維持か、議論は尽きない。そこで1回目の議員定数検討特別委員会では、地方自治・地方政治が専門の江藤俊昭先生を招き、研修を受けることとした。全議員参加の研修の成果はいかに。今後の議論に生かしていく。



多様な意見が飛び交い白熱する特別委員会

議員提出議案

議員報酬及び費用弁償等に関する
条例の一部改正

年間支給 4.50か月分→**4.60**か月分

議会議員の期末手当を**0.1**か月分引上げ

昨年度に引き続き、人事院（国）及び人事委員会（埼玉県）からの勧告を尊重し、期末手当の引上げを行った。また、町長・副町長・教育長・町職員の期末手当等の引上げに関する各議案も全会一致で可決した。



今回も「議員提出議案」として上程し、全会一致で期末手当を引き上げた。過去には、2度にわたる引下げも行ってきた。現在進めている「議会の改革・活性化」の取組の中で「議員報酬等の在り方」についても見直しを図っていく。

シリーズ

16の1歩!!

進み続ける議会

令和5年9月定例会号（No.109）から始まったこのシリーズも6回目を迎えた。議会主催の（仮称）「地区懇談会」と同じく重要な議員定数の検討が本格化する。